



特定非営利活動法人アスクネット

2018年度 年次報告書



ASK NET

代表理事挨拶

このたび、5月に開催されます総会をもって、代表理事を退任させて頂くことになりました。2009年度の就任より10年。これまでを振り返ってみますと、実に多くの方々のご支援ご協力があったの今があるとしみじみと実感する次第です。改めてこの場をお借りして感謝申し上げます。

特に2010年度からスタートしました高校生のインターンシップでは2018年度の実施人数2,420人、受け入れ事業所数のべ743事業所と過去最高の結果を積みあげることができました。初年度の参加者が49名でしたので、実に約50倍の拡大となります。これらの数字一つ一つに「出会いと挑戦」の物語が存在します。それは生徒達だけでなく、それを支える大人達にも言えることであります。

新元号「令和」の由来となった万葉集には、立場や役職、肩書きに関係なく多くの方々の歌がまとめられています。アスクネットの活動も様々なステークホルダーの方々のご協力によって、様々な日常の物語が織りなされてきました。そこには立場に関係なく子ども達のために、地域のためにといった想いの連鎖が存在します。それぞれの立場による違いによって、それぞれの視点がうまれる。その多様性こそがアスクネットの活動に広がりや深みを創りだしてきました。

約100年前に「Learning by doing」(為すことによって学ぶ学習)を提唱した教育哲学者ジョン・デューイは、「教育が進歩しなければ、社会もまた進歩しない。」と言っています。

予測困難な時代。アスクネットの役割も益々重要性が高まっています。万葉集で謳われた歌人のように、アスクネットはこれからも多様な人たちとともに「学び合い育ち合う共同体づくり」に取り組んで参ります。

新体制後も引き続き、ご支援ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

「学び合い、育ち合う共同体づくり」を
ともに目指していきましょう。

特定非営利活動法人アスクネット
代表理事 白上 昌子
2019年5月



年表

法人年表

1999年
愛知私学教育ネットとして事業開始

2001年
愛知市民教育ネットに改名
特定非営利活動法人
(NPO法人) 格取得

2003年
経済産業省
市民活動活性化モデル事業
高校生のための情報誌『S-ch.001』
(後の『Schan』) 創刊
※現在休刊中

2006年
アスクネットに改名

2015年
第5回キャリア教育アワード経済産業
大臣賞受賞

2017年
5カ年の中期ビジョン開始

事業年表

- 1999年 教育イベント支援スタート
- 2000年 愛知私学関連事業開始
- 2001年 市民講師ナビ事業開始
- 2004年 文部科学省 地域子ども教室推進事業(安城まちの学校)
- 2005年 日本たばこ産業株式会社助成事業「中高生のための社会起業家ナビ」
経済産業省 地域自律・民間活用型キャリア教育プロジェクト
(瀬戸キャリア教育) (再委託)
- 2006年 教育CSR事業開始
アイシン精機株式会社「アイシン青少年環境教育事業」
経済産業省 チャレンジ・コミュニティ創成プロジェクト
(大学生実践型インターンシップ)
高浜市「たかはま夢・未来塾」
- 2008年 経済産業省 キャリア教育民間コーディネーター
育成・評価システム開発事業(中核コーディネーター)
- 2009年 経済産業省
キャリア教育民間コーディネーター育成・評価システム開発事業
(研修プログラム作成・実証事業)
愛知県 ふるさと再生雇用基金人材育成コーディネート推進事業
- 2010年 高校生公募型インターンシップ
マイチャレンジインターンシップ 開始
内閣府 地域社会雇用創造事業
ソーシャルビジネスエコシステム創出プロジェクト
- 2014年 愛知県 キャリア教育コーディネート人材育成事業
- 2015年 高浜市 学習支援事業
安城市 健康都市推進アクションプラン
- 2016年 名古屋市 学習支援コーディネート事業
愛知県 キャリア教育コーディネーター活用事業
- 2017年 大府市 大府市学習支援コーディネート事業
岐阜県 池田町 コーディネート事業
- 2018年 教育関係者向け研修会「ENGINE」開催
次世代リーダー育成プログラム「アスキミキャンプ」実施

事業戦略（ミッション、事業一覧）

-アスクネットの使命・ミッション-

地域の学校・市民・企業・行政・各種団体などと協力して、互いが

「学び合い育ち合う共同体づくり」を進める。

そこでの出会いをきっかけとして、人々とりわけ子どもたちが夢や目標をもって挑戦し、その中で成長していく学習を創造する。

これらの多様な「出会い」と「挑戦」の機会を通じて、自らの人生を主体的に切り開き、社会をよりよくしていく主体者へと成長する過程を支援することで、誰もが心豊かに暮らせる社会を実現し、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

-事業一覧-

対象者	事業内容	企業数	学校数	参加人数	その他	対象事業名
小学生	環境学習	10社	37校	2,589人		教育CSR事業
小・中学生	ものづくり講座	12事業所	52校	2,964人	愛知県内全域	行政委託事業 (愛知県)
小・中・高校生	社会人講話	291名 (講師)	98校	21,904人		市民講師ナビ事業 キャリア教育コーディネーター活用事業
中・高・大学生	学習支援 (中・高) 学習支援ボランティア (大学生)			137人 106人	高浜市と大府市の 学習支援事業合計	学習支援事業
高校生	インターンシップ	のべ 743事業所	72校	2,420人	公募型41校、 学校独自型31校 (私立15校 公立16校)	市民講師ナビ事業 キャリア教育コーディネーター活用事業 公募型高校生インターンシップ事業
	社会人講話		2大学	225人	キャリアデザインなど	市民講師ナビ事業 ほか
一般市民	認定キャリア教育コーディネーター育成講座			12人	類計100名(2010年より)	キャリア教育コーディネーター育成事業
	ケンサチグランプリ他	3団体		92名	ケンサチフォーラム参加市民	行政委託事業 (安城市)

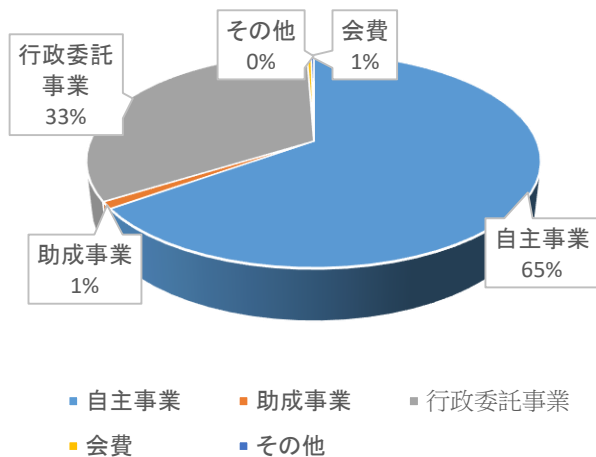
事業概況

- 2018年度事業決算 -

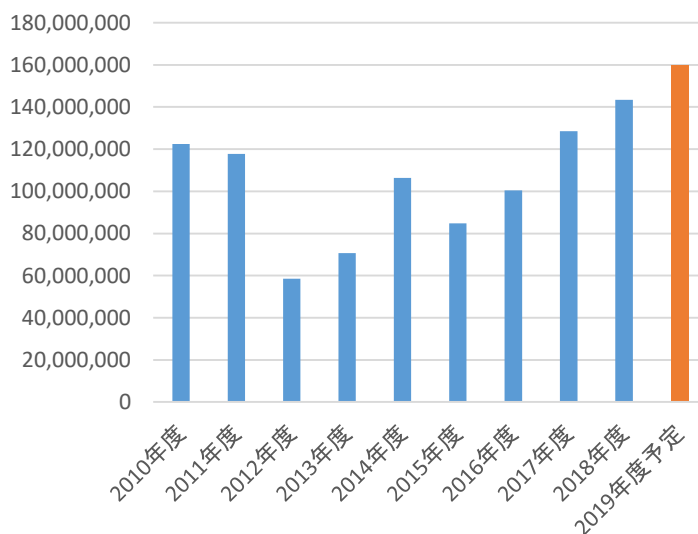
5ページ	市民講師ナビ事業	自主事業	約 6,971万円
6ページ	教育CSR推進事業	自主事業	約 1,443万円
	教育イベント推進事業	自主事業	約 324万円
7ページ	キャリア教育コーディネーター育成事業	自主事業	約 140万円
	出会いと挑戦の教育普及啓発事業	自主事業	約 401万円
	教育団体協働事業	自主事業	約 34万円
8ページ	受取助成金 (インターンシップ事業)	助成事業	約 150万円
9ページ	学習支援事業 (高浜市委託事業)	行政委託事業	約 1,553万円
11ページ	学習支援事業 (大府市委託事業)	行政委託事業	約 750万円
12ページ	学習支援コーディネート事業 (名古屋市委託事業)	行政委託事業	約 460万円
13ページ	キャリア教育コーディネーター活用事業 (愛知县委託事業)	行政委託事業	約 1,229万円
14ページ	モノづくり魂浸透事業 (愛知县委託事業)	行政委託事業	約 429万円
15ページ	安城市ケンサチグランプリ推進支援事業	行政委託事業	約 299万円
14ページ	池田町キャリア教育コーディネート事業	行政委託事業	約 43万円
	会費	会費	約 52万円
	その他	その他	約 34万円

計 約14,312万円

- 事業財源内訳 -



- 事業規模推移 -



-市民講師ナビ事業-

アスクネットの中心事業の一つである本事業において、プログラム体験生徒数は年々増加している。特に私立学校におけるインターンシップはその内容も変化をしており、講座等と連動した探求型のプログラムが増えてきている。その他、社会人講座の依頼も依然として多くあり、公立私立問わず様々な学校で市民講師ナビ事業を展開することができた。

私立高等学校学校インターンシップ実施状況

15校 1,210名の生徒が インターンシップ体験活動を実施

【2018年度実施校】

愛知黎明高校、安城学園高校、黄柳野高校、桜丘高校、市邨高校、誠信高校、豊川高校、豊橋中央高校、杜若高校、同朋高校、南山高校女子部、聖霊高校、愛知淑徳高校、高蔵高校、椋山女学園高校（計15校）

- 課題解決型インターンシップ
- 進路探究型インターンシップ
- ITC×インターンシップ
- PBL型学習×インターンシップ 等



36校 延べ7,540名の生徒が 社会人講座を受講 延べ191名の講師が講座実施

- 定番の職業講話やマナー講座も継続実施
- 大学教授を招いた分科会講座
- 社会的課題解決方法を学ぶ講座など
従来からのキャリア教育からの派生も



インターンシップ参加者は年々増加しており、またその協力者も増えている。今年度は延べ480社以上の企業・団体がインターンシップ受入先として関わり、社会人講師も多く活躍した。本事業を通して「学びあい育ちあう共同体」は大きくなり「主体的な18歳を社会に送り出す仕組み」が作られていることを実感できる1年であった。

-教育CSR推進事業-

企業が教育に主体的に関わり、子どもたちの成長のみならず、企業も効果を生み出し、企業が積極的に教育に投資する潮流を生み出すことを目指す。事業実施にあたっては、行政など他のセクターとも連携。2006年度から継続して実施している「アイシン環境学習プログラム」をさらに発展させるとともに、これまでの実績をPRし、他企業や関係講師、実施校教員との連携を強化し学習効果の最大化を図った。

環境学習（2018年度）

37校 2,589名 の児童に
年間プログラムを実施

- 行政とも連携し、アイシングループ・10社の事業所のある14市町で実施
- 近隣地域の小学校で環境教育を通じて将来の担い手となる児童の育成をはかる
- 小学3～6年生を対象に森・水辺・くらし・産業からテーマを選定
- 支援企業一覧
アイシン精機株式会社、アイシン高丘株式会社、
アイシン化工株式会社、
アイシン・エイ・ダブリュ株式会社、
アイシン・エーアイ株式会社、
株式会社アドヴィックス、アイシン機工株式会社
アイシン辰栄株式会社、アート金属工業株式会社、
シロキ工業株式会社



2006年度から累計

320校 26,731名 の児童が受講

2016年度より愛知県環境部と協働で実施している「愛・シンフォニーコース」も3年目を迎え、8月に教員研修を実施し、小学校におけるカリキュラムマネジメントへの活用を引き続き貢献した。

環境学習の実施工エリアは愛知県のみならず長野県にも広がり、支援企業も拡大の一途をたどっている。

児童における環境や地域社会への意識や継続的な取組みを狙った本活動について、過去に受講した6年生への追跡調査を実施した結果、4年生時と同等か、もしくはより意識が高まっているとの回答も得られ、児童における学びの定着が見受けられる内容となった。

～キャリア教育コーディネーター育成事業～

キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会との連携の下、キャリア教育コーディネーター育成講座を実施したほか、教育Reformセッション「ENGINE」を開催した。

2018年度

エントリーコース参加者 **9** 名

実践コース 参加者 **12** 名

認定試験合格者数 **6** 名

- 説明会を兼ねた基礎講座 2回実施
- エントリーコース実施（4日間にわたる座学研修）
- 実践コース（学校現場でのコーディネーション実施）



2010年より、講座受講者数
累計

100 名 キャリア教育の理解・普及に貢献

■ 教育Reformセッション“ENGINE”を3月に開催

国立教育政策研究所の長田徹氏の基調講演、テーマに分かれた分科会を実施。東海地域のみならず、全国より参加者が集まり、教育に関わる「耕し人」のネットワークづくりに繋がった。

登壇者 **21**名 参加者 **114**名

今年度の育成研修は、すでに学校内でコーディネーターとして活動している方が複数受講されているのが特徴であった。ワーク等でも実体験をもとに意見交換をおこなっていただき、非常に厚みのある研修となった。実践コースでは、今年度初めてコーディネートをを行う学校があったが、学校の要望に沿った職業の講師をあきらめずに開拓し、コーディネーターやキャリア教育への理解がさらに広がる機会となった。

また、今年度初めて「ENGINE」を開催。教員、コーディネーター、教育関係者、一般市民が合わせて114名参加し、「教育プラットフォーム」創設の第一歩となった。

-インターンシップ事業-

2010年度から学校の実情に関係なく、愛知県内のどの学校の生徒でも挑戦できる、公募型インターンシップ「マイチャレンジインターンシップ」を実施し始めた。現在は自主事業として実施。本年度は一般社団法人アスバシに資金協力をしてもらいながら、受入れ事業所も協賛をして下さった企業が中心となった。春には、航空宇宙産業にしばった特別編として、「春のマイチャレンジインターンシップ2019」を一般社団法人アスバシと愛知県が共催で実施、協力団体としてプログラムのコーディネートを行った。

◆2018年度・夏

愛知県内の高校生 **33校 82名** が、
3～5日間のインターンシップに参加



◆2018年度・春

「春のマイチャレンジインターンシップ2019
～航空・宇宙産業編～」には

11事業所に**8校 20名**の生徒が参加。



■累計（2010年度から）**635名**
の高校生が参加

■マイチャレンジインターンシップ報告会
には**103名**が参加



高校生、大学生、教員、受入事業所、保護者、一般市民が参加するインターンシップ報告会では、代表生徒がインターンシップでの成長エピソードを発表した。地域の大人が高校生の可能性に触発され、高校生と地域の大人との交流が生まれる場となった。報告会終了後には、様々な大人が懇親会にも参加し、アスクネットの活動を広げる機会ともなった。報告会ではマイチャレンジインターンシップのOB・OGが大学生として司会を務めた。

※企業協賛を中心とした「一般社団法人アスバシ」とからの資金協力にて実施

-学習支援事業（高浜市委託事業）-

高浜市在住の生活困窮世帯に属する小学生を対象とした学習等支援事業「ステップ・ジュニア」、中学生・高校生を対象とした学習等支援事業「ステップ」を実施している。対象児童・生徒は、生活保護受給世帯、就学援助受給世帯、その他困窮のリスクが高い児童・生徒（母子・父子親家庭、不登校、特別支援学級、著しい学習遅滞等）とし、ステップ・ジュニアは毎週木曜日と土曜日に、ステップは毎週土曜日に、高浜市いきいき広場で学習支援教室を実施している。ステップ・ジュニアでは児童の学習支援は地域支援員と高校生ボランティアが主に行い、宿題等を取り組む“学習タイム”と、楽しみながら学べる“講座タイム”を実施。ステップでは生徒の学習支援は大学生ボランティアが主に行い、学習の支援と、生徒のキャリア教育のため、月1回程度、社会人や大学生による講座や、生徒自身によるイベントの実施等を行っている。また、高浜市のボランティア団体が昼食の支援を行っている。

【ステップ】

2018年度

62回 55名の中・高生が
学習支援教室に参加

■参加生徒

・延べ**1057名**の生徒が参加

・1回当たり約**17.0名**

■昼食支援

・利用生徒延べ**725名**

・1回あたり約**11.7名**

・登録支援団体**18団体**

■学習支援ボランティア

・学習支援ボランティアの活動者数**36名**

・参加人数のべ**264名**（見学・体験の数も含む）

・1回あたり約**4.3名**

・チャレンジサポーター定例会**3回**実施

■イベント・研修会

・生徒向けイベント延べ**19回**実施

・学習支援ボランティア向けイベント延べ**8回**実施



主催：特定非営利活動法人アスネット（社会福祉協議会高浜市支部が中心） 協賛：高浜市役所

『みんなの学校』上映会

～子どもたちを支える地域づくりを考えよう～

2019
3/24（日）
13：00～16：30
開場 12：30

高浜市
女性文化センター
〒444-1330
高浜市山田町六丁目6番地4
（高浜市立山田小学校）

入場無料
※無料上映・上映料をすべて
アスネットが負担いたします
定員 100名

【観覧のスケジュール】
12：30～13：00 開場
13：00～13：15 開演
13：15～13：30 上映
13：30～13：45 休憩
13：45～14：00 上映
14：00～14：15 休憩
14：15～14：30 上映

【申し込み方法】
申込・メールまたはFAX（2019年3月16日まで）
特定非営利活動法人アスネット TEL 052-881-5567
TEL 052-881-5568 FAX 052-881-5567
E-mail info@asnet.org

【お問い合わせ】
3/17（日）

高浜市学習支援ボランティアセンター

この上映会は、高浜市にある生活困窮世帯に属する小学生を対象とした学習等支援事業「ステップ・ジュニア」を実施している。対象児童・生徒は、生活保護受給世帯、就学援助受給世帯、その他困窮のリスクが高い児童・生徒（母子・父子親家庭、不登校、特別支援学級、著しい学習遅滞等）とし、ステップ・ジュニアは毎週木曜日と土曜日に、ステップは毎週土曜日に、高浜市いきいき広場で学習支援教室を実施している。ステップ・ジュニアでは児童の学習支援は地域支援員と高校生ボランティアが主に行い、宿題等を取り組む“学習タイム”と、楽しみながら学べる“講座タイム”を実施。ステップでは生徒の学習支援は大学生ボランティアが主に行い、学習の支援と、生徒のキャリア教育のため、月1回程度、社会人や大学生による講座や、生徒自身によるイベントの実施等を行っている。また、高浜市のボランティア団体が昼食の支援を行っている。

-学習支援事業（高浜市委託事業）-

【ステップ・ジュニア】

2018年度

106回 **12名**の小学生が
学習支援教室に参加



■ 参加児童

- ・ 延べ**514名**の児童が参加
- ・ 1回当たり約**4.8名**

■ 昼食支援

- ・ 利用児童延べ**306名**
- ・ 1回あたり約**4.9名**

■ 学習支援ボランティア

- ・ 高校生 学習支援ボランティアの参加人数**10名**
- ・ 参加人数延べ**65名**（見学・体験の数も含む）
- ・ 地域支援員 学習支援ボランティアの参加人数**2名**
- ・ 参加人数延べ**44名**

■ 講座

- ・ 南部まちづくり協議会による講座**9回**
- ・ アスクネット実施講座**81回**



今年度より、2016年度から実施してきた高浜市学習等支援事業「あすたか」（小学4～6年生対象）と「ステップ」（中学生・高校生対象）と統合し事業を開始した。小学生4～6年生対象の教室を「ステップ・ジュニア」、中学生・高校生対象の教室を「ステップ」とし、小学校から高校までの一貫した支援体制を構築することができた。地域と連携した支援に力を入れ、ステップ・ジュニアでは、地元の高校のボランティア部とのボランティア連携、地域団体による季節の工作講座の実施、図書館からの本の貸出、地域の美術館やお祭り見学などの地域資源の活用に取り組んだ。ステップでは、地域市民を講師として招いた講座の実施や学習支援に関わる市民を招いたクリスマス会の開催などを行った。地域全体で子ども達を支援するモデルケースとしての可能性を感じる事業へと成長している。

- 学習支援事業（大府市委託事業） -

大府市の委託事業として中学生に対する学習支援事業を実施した。市内の4か所の公民館を会場として、約80名の登録生徒に対する支援を行った。運営責任者として地元の方を採用し、教室運営を行った。本年度で2年目の事業となり、行政や学校との連携や地域活動との関係性を構築した。

■ 実施回数

- ・横根公民館 46回
- ・東山公民館 45回
- ・長草公民館 47回
- ・森岡公民館 46回

合計 **184回**

■ 登録生徒数

- ・横根公民館 16名
- ・東山公民館 28名
- ・長草公民館 17名
- ・森岡公民館 21名

合計 **82名**

■ 参加生徒 延べ人数

- ・横根公民館 205名
- ・東山公民館 517名
- ・長草公民館 301名
- ・森岡公民館 357名

合計 **1380名**

(1回あたり30名/4館)

■ 学習サポーター

- ・学習サポーター **41名** (体験含む)

- ・1回当たりの人数平均 **7.0名**

- ・延べ **323名**



■ イベント

全公民館合計で **16回** 実施

読書感想文講座、英語講座、カレー作り、クリスマス会
4館合同交流、地域の方との交流、1年間の振り返り など



■ 研修会・情報交換会

運営責任者・学習サポーター対象の研修会・情報交換会を **3回** 実施

- ・「教育」と「福祉」を活かした学習支援の方法について
- ・大府市適応指導教室への訪問と情報交換
- ・支援が必要な子どもたちへの関わり方と事例の検討

2年目ということもあり、行政や学校との連携や地域活動について少しずつ関係性を構築した。4館すべてにおいて地域の方との交流イベントを行い、生徒たちと地域の方との関係性作りのきっかけとなった。また、運営責任者が大府市の適応指導教室を訪問し情報交換することで、他の機関との連携につながる機会となった。

－名古屋市学習支援コーディネート事業－

(名古屋市委託事業)

家庭環境や学力面で高校進学に課題を抱えるひとり親家庭、生活保護世帯及び生活困窮世帯の中学生を対象として、別に運営する「名古屋市中学生の学習支援事業」における学習支援事業受託者間の連携強化及び子どもの学習支援事業にかかるネットワークの構築をはかった。なお、本事業においては、株式会社スターシャル教育研究所とコンソーシアムを組み、「子ども縁の下サポーター」として運営を行った。

2017年度 学習支援受託業者27事業所

全143教室 合計1,675名

2018年度

学習支援受託業者27事業所

全150教室 合計1,673名の

生徒たちの運営に関するサポート
およびコーディネーションを実施

- 事業実施責任者 研修会・連絡会 3回
- 運営責任者 研修会 1回
- 学習サポーター 研修会・交流会 4回
- 学習サポーター基礎講座 2回
- 事例報告会 1回 129名
(事業実施責任者・運営責任者・学習サポーター・
及び子ども応援室職員等教育関係者)
- 受託事業所に対して、参加児童の学習計画等への相談助言等の業務実施



2018年度は学習支援会場150会場、1,673名の生徒が参加した。昨年度に引き続き、学習支援の運営関係者を対象とした研修の実施を担当し、延べ575名が参加した。講演形式だけでなく、参加者同士の意見交換や情報共有に重点を置いた研修の運営を行った。参加者からは、普段関わることのない他教室の話聞いて良かったなどの感想が聞かれた。参加者の満足度も84%と高く、学習支援事業に対して前向きに関わる姿勢を引き出すことができた。

ーキャリア教育コーディネーター活用事業ー

(愛知県委託事業)

愛知県立高等学校から16校を指定校とし、キャリア教育コーディネーターを配置することで指定校におけるキャリア教育の促進を図ることを目的とした。主に「インターンシップ等体験活動の連絡調整・企画・実施」、「社会人講師によるキャリア教育に関する講座の企画・運営」、その他指定校におけるキャリア教育の支援を実施した。

■事業の内容 愛知県内16校を指定校とし、以下の業務を実施

1. 学校との連絡調整
2. キャリア教育の実施状況とニーズの把握
3. インターンシップ等、キャリア教育に関する体験活動受入先の新規開拓と連絡調整
4. キャリア教育に関する社会人講師の新規開拓と連絡調整、企画・運営支援
5. キャリア教育コーディネーター推進会議の開催
6. 進捗状況の報告

■参加生徒 **1,108**名が

1～5日間のインターンシップ等、体験活動に参加

■社会人講師 **100**名による講座を、**62**校で

161講座実施 延べ**14,324**名に

働くことの心構えや、職業に関する知識や技術を学び、勤労観・職業観を醸成するきっかけを提供



■教員研修会として、延べ**41**校 **54**名の

県立高等学校教員に対し、キャリア教育推進につなげる目的で研修会を実施



今年度はインターンシップ等体験活動において、昨年よりも300名近く多い、1100名を超える生徒を地域に送り出した。受入先も400を超える事業所を開拓するなど、県内のキャリア教育推進に大きく寄与することができた。社会人講師では県内普通科・総合学科を設置する112校すべてにアプローチし情報収集を行った。また、昨年を大きく超える62校において161講座を行い、14,000名を超える生徒に社会人の「生の声」を伝えるためのコーディネートを行った。75%の生徒が「ためになった、感動したことがあった」と答えるなど、学校現場にインパクトを残した。

◆モノづくり魂浸透事業（愛知県委託事業）

モノづくり人材の育成を目的とした「モノづくり魂浸透事業（学校派遣事業）」を受託。2019年度に本県で開催する技能五輪全国大会及び現在招致を行っている2020年度技能五輪全国大会・全国障害者技能競技大会に向けて、県内での技能尊重気運を高め、児童・生徒に技能者への憧れやモノづくりへの関心を深めることを目的に、技能五輪メダリスト等の技能者を県内の小学校、中学校及び特別支援学校へ派遣し、授業や課外活動等において実演披露やモノづくり体験、職業講話等を実施した。

2018年度 愛知県内の小・中学・特別支援学校

52校2,964名が、モノづくり講座に参加

■実施講座例

- ・精密機器・1/1000ミリの戦い
(株式会社デンソー技研センター 技能研修部)
- ・手づくりロケット教室
(夢小屋代表) など



今年度は、第一次メ切的段階で50校を超える愛知県内の小学校・中学校・特別支援学校から申し込みがあった。参加児童生徒を対象に実施したアンケートでは「モノづくりの仕事に興味を持ちましたか？」という質問に対し、「とても興味を持った」「興味を持った」と答えた小学生は87%、中学生は91%、特別支援学校の生徒も81%を超え、本事業によって参加者がモノづくりの仕事に興味関心を持つことに繋がった。

◆池田町キャリア教育コーディネーター委託事業

アスクネットで育成講座を受講した岐阜県揖斐郡池田町のキャリア教育コーディネーター2名が中心となり、池田中学校における社会人講師講座「池中15のREAL」を実施した。池田中学校の教育目標と、池田町が掲げるキャリア教育の充実を実現するために、地元の方を中心に15名の講師が生徒と対話する形で講座を行った。

■参加生徒

池田中学校3年生260名

■講師

池田町在住の講師を含む15名
美容師、保育士、看護師、障がい者支援員、
NGO職員など



－安城市ケンサチグランプリ推進支援業務－

第8次安城市総合計画の目指す都市像「幸せつながる健幸都市安城」の実現のため、「平成28年度健康都市推進アクションプラン策定業務」において計画策定した事業の支援を行う。

■ 仮想理事会実施

年間でのべ**4回**の（VBA：バーチャルボードミーティング）を実施

事業実施団体、企画情報課、関係所轄課、アスクネットの4つの立場から事業成果や課題を踏まえ、今後の事業方針に関する検討を行った。



■ ケンサチフューチャーセンター

事業団体の集客や広報の課題について、市民や専門職者を交えた意見交換会を実施

フューチャーセンターとは、「産学官民の垣根を越えて未来のステークホルダーが集まり、仮説をつくる場（一般社団法人Future Center Alliance Japan (FCAJ) HPより引用）」

- ・『運動習慣ゼロの人に運動してもらうための仕組みづくり／市民から企画が生まれるまちづくり』（快足AC／本證寺）
（参加者：23名 8月7日実施）
- ・『安城の「農」と「こども」のこれからを考える』（耕し人・アグリパーク安城／安城プレーパーク）
（参加者：12名 12月22日実施）
- ・『SDGsを通じて「企業の健康経営」を考える』（スギ薬局／株式会社cokore）
（参加者：13名 3月14日実施）



■ 公開仮想理事会

出席者数：のべ**44**名が参加

1月15日 安城市役所さくら庁舎2階 第36会議室

- ・1年間のプロジェクトリポート
- ・事業者別 公開仮想理事会
- ・アドバイザー：
寺田久美氏（ABC安城ビジネスコンシェルジュ 専門家）
毛受芳高氏（ケンサチグランプリ実行委員会）



◆代表理事による会議等対外活動実績

■委員

文部科学省 消費者教育推進委員会 委員（文部科学省男女共同参画課）
愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略検証会議 委員（愛知県政策企画局企画課）
あいちICT活用推進本部有識者会議 委員（愛知県地域振興部情報企画課）
名古屋市教育委員会事務の点検・評価委員（名古屋市教育委員会）
第3期名古屋市教育振興基本計画 策定委員（名古屋市教育委員会）
刈谷市グローバル人材を活用したESD推進メニュー開発会議 委員（刈谷市市民協働課）
高浜市こども貧困対策会議 委員（高浜市福祉部）
環境教育・学習における「ESD推進」のための実践拠点支援事業 評価会議委員
（環境省中部環境パートナーシップオフィス）

東海若手起業塾 実行委員

一宮市市民活動支援センター アドバイザー

■講演等

愛知県職員二年目研修（愛知県自治研修所） 研修講師
視察報告会「レッジョ・エミリアから学ぶ私たちにできること」講演
豊田市後援（ひやくようばこ）

未来のひとづくりシンポジウム パネリスト

（一般社団法人カンコー教育ソリューション研究協議会）

名古屋大学情報文化学部 「情報と職業1」 非常勤講師

◆弊社団体スタッフによる会議等対外活動実績

■ゲスト講師

高浜市立南中学校 リーダー研修会 研修講師
愛知教育大学 キャリアデザインⅣ ゲスト講師
愛知教育大学 キャリア発達論 ゲスト講師
愛知大学 NPO論 ゲスト講師
愛知大学 入門講義社会学 ゲスト講師
中京大学 キャリア構想ケーススタディ（年2回） ゲスト講師
中京大学 職業と社会 ゲスト講師

■講演・講師

愛知県社会福祉協議会学習支援ボランティア養成講座（年8回） 研修講師
尾張部社会福祉事業連絡協議会 事務担当者研究協議会 研修講師
東海市主任児童委員研修会（2回） 研修講師
東海市民生委員・児童委員連絡協議会研修会 研修講師
静岡県西部三市新規採用職員合同研修 研修講師
地域民主教育全国交流研究会2018鹿児島 学習分科会
東海社会学会 第11回大会 市民活動報告部会

■委員

高浜市立南中学校 学校関係者評価委員

■論文掲載

東海社会学会 年報第10号 市民活動報告

◆教員研修

「新学習指導要領の理解を深め実践する」、「キャリア教育や探究的な学習の理論と実践を学ぶ」など、時代に即した学びの機会を提供している。

2018年度は安城学園高校にて、「場づくり学習会—主体的・対話的で深い学びの実現に向けて—」を実施し、研修の実践の機会として普通科1年生に対し、「コミュニケーション講座」を全4回実施した。



◆かがやけ☆あいちサスティナ研究所、あいちの未来クリエイト部

■かがやけ☆あいちサスティナ研究所 ファシリテーター
環境活動に取り組む人材を育成する愛知県の事業「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」においてファシリテーターとして参加した。企業からの課題に対して大学生が解決策を提案する学生グループへの伴走支援を行った。

■あいちの未来クリエイト部 ファシリテーター
高校生が地域の環境について学び、発信する愛知県の事業「あいちの未来クリエイト部」においてファシリテーターとして参加した。高校生が教材の作成を行う過程において伴走支援を行った。



◆アスキミキャンプ

■ 3月16日(土)～3月17日(日) 於：愛知県青少年宿泊センター

「やりたい事をカタチにする2日間」をテーマに、参加した学生が気になっている社会問題を見出し、実現したい社会を見据えて行動を始める一歩を踏み出す合宿を実施した。

【講演ゲスト】

- ・丸山 純平 氏 (岐阜大学地域科学部・株式会社ゴーアヘッドワークス)
- ・三輪 浩朔 氏 (龍谷大学政策学部・株式会社アカイノロシ)

【座談会ゲスト】

- ・伊藤 遥 氏 (株式会社MTG)
- ・掛川 遥香 氏 (NPO法人G-net)
- ・南谷 友香 氏 (Salmons)



◆愛知サマーセミナー

■ 7月14日(土)～16日(月) 於：椋山女学園大学・椋山女学園中学・高校

「第15回教育コーディネーターフォーラム2018」開催(7月15日実施)

テーマ：「ブレない指針。開かれた学校教育」

【ゲスト】

- ・生重幸恵氏 (一般社団法人キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会 代表理事)
- ・寺脇研氏 (京都造形芸術大学 教授)
- ・上井靖氏 (NPO法人日本ファシリテーション協会 元理事)
- ・本間正人氏 (京都造形芸術大学副学長 教授)



スタッフ紹介

代表理事



白上 昌子

市民講師ナビ事業
チームリーダー

ディレクター



山本 和男

教育CSR推進事業
チームリーダー



城取 洋二

学習支援事業
チームリーダー



菅原 伸二

出会いと挑戦事業
チームリーダー

キャリア教育
コーディネーター
育成事業チームリーダー



小柳 真哉



後藤 恵理香



山田 将人



肥田 幹子



加藤 淳子



荒井 直人



松井 彩



山地 佳奈



櫛谷 彩乃



二村 信伍



原 さおり



魚川 三喜



山本 まど香



安藤 仁美



佐々木 愛理



菅野 由梨



山口 礎人



桑原 都糸子



ASK NET

特定非営利活動法人アスクネット

〒456-0006

名古屋市熱田区沢下町8-5 愛知私学会館東館3F

Tel: 052-881-4349 Fax:052-881-5567